

うきは市男女共同参画推進映画鑑賞会

「最高の人生の見つけ方」

入院して初めて人生の虚しさに気付いた2人は、たまたま手にした12歳の少女の「死ぬまでにやりたいことリスト」を実行するという、ありえない決断をする!今までの自分なら絶対にやらないことも、自らの殻を破って初体験!自分らしく生きることの楽しさに出会えた二人に、ある奇跡が待っていたー

一度きりの人生について、この映画をきっかけに、一緒に考えませんか?

ご家族・お友達・ご近所の皆様と是非ご参加ください。



日時：1月23日（火）18：00～（17：30開場）

会場：白壁ホール

入場無料・申込不要・無料託児有

※駐車場の混雑が予想されますので、乗り合わせでお越しください

※無料託児（4カ月～就学前）は1月12日（金）までにお申し込みください。

問合せ・託児申込み 男女共同参画センター だんだん

☎ 77-2661 E-mail: danjo@city.ukiha.lg.jp

～男女共同参画センター だんだんだより～ 「アンコンシャス・バイアス」とは?

「アンコンシャス・バイアス」という言葉を聞いたことがありますか? 「アンコンシャス・バイアス」とは、「無意識の思い込み」という意味で、「自分では気づいていないものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」のことを指します。「アンコンシャス・バイアス」は誰にでもあり、例えば血液型を聞いて、相手の性格を想像する等、日常生活にあふれています。

しかし、「男性は外で働き、女性は家庭を守るもの」等といった「アンコンシャス・バイアス」は、判断の単純化や決めつけの助長といった悪影響を及ぼす可能性があり、誰かを傷つける原因にもなってしまいます。令和3（2021）年に内閣府男女共同参画局が行った「性別によるアンコンシャス・バイアスに関する調査研究」は、以下のような結果でした。

「アンコンシャス・バイアス」という言葉の認知度は21.6%と低い。

日常生活の中で無意識の思い込みや偏見に同意する人が多い。

家庭では、50代～60代の男性の性別役割意識が強い。

職場では、すべての年代で男性のほうが性別役割意識が強い。

性別に基づく思い込みや決めつけられた経験は女性のほうが多い。

性別に基づく思い込みや決めつけをしているのは、男性が多い。

「言動や態度から性別役割意識を感じさせられた」相手は、

女性の場合・・・①男性の職場の上司②配偶者・パートナー③父親の順。

男性の場合・・・①父親②男性の知人・友人③男性の職場の上司④母親の順。

「アンコンシャス・バイアス」そのものに良し悪しはなく、自身の「アンコンシャス・バイアス」に気づこうと意識することが大切です。男女がお互い尊重しあい、職場、学校、家庭、地域などの社会のあらゆる分野で、性別に関わらず個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合える男女共同参画社会の実現を推進していきましょう。